

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)

【公開番号】特開 2000-231558 (P2000-231558A)

【公開日】平成 12 年 8 月 22 日 (2000.8.22)

【出願番号】特願 平 11-33257

【国際特許分類】

**G 0 6 F 17/28 (2006.01)**

**G 1 0 L 13/00 (2006.01)**

**G 1 0 L 13/08 (2006.01)**

**G 1 0 L 15/00 (2006.01)**

**H 0 4 L 29/02 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 17/28 V

G 1 0 L 3/00 R

G 1 0 L 3/00 H

G 1 0 L 3/00 5 5 1 C

H 0 4 L 13/00 3 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 10 日 (2006.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の言語で入力された発話者の音声を認識する音声認識手段と、  
上記音声認識手段で認識された音声を第 2 の言語に機械翻訳する機械翻訳手段と、  
上記機械翻訳手段によって機械翻訳された第 2 の言語に音声を合成する音声合成手段と

、  
上記第 1 の言語で入力された発話者の音声と上記音声合成手段からの第 2 の言語の音声とを所定の順序で出力する制御を行う音声出力制御手段と、

上記音声出力制御手段から出力された音声を上記発話者の発話相手に通信する通信手段とを備える通信装置。

【請求項 2】

上記第 1 の言語で入力された発話者の音声を記憶する記憶手段を備え、

上記音声出力制御手段は、上記記憶手段に記憶された発話者の第 1 の言語の音声と上記機械翻訳手段からの第 2 の言語の音声とを所定の順序で出力する制御を行うことを特徴とする請求項 1 記載の通信装置。

【請求項 3】

上記通信手段は、上記音声出力制御手段から出力された音声を上記発話者自身及びその発話相手に通信すること

を特徴とする請求項 2 記載の通信装置。

【請求項 4】

第 1 の言語で入力された発話者の音声を認識し、  
上記認識された音声を第 2 の言語に機械翻訳し、  
上記機械翻訳された第 2 の言語に音声を合成し、

上記第 1 の言語で入力された発話者の音声と上記第 2 の言語の音声とを所定の順序で出力し、

上記所定の順序で出力された音声を上記発話者の発話相手に通信することを特徴とする通信方法。

【請求項 5】

上記第 1 の言語で入力された発話者の音声を記憶手段に記憶し、

上記記憶手段に記憶された発話者の第 1 の言語の音声と上記機械翻訳された第 2 の言語の音声とを所定の順序で出力する制御を行い、

上記所定の順序で出力された音声を上記発話者の発話相手に通信することを特徴とする請求項 4 記載の通信方法。

【請求項 6】

上記所定の順序で出力された音声を上記発話者自身及びその発話相手に通信することを特徴とする請求項 5 記載の通信方法。

【請求項 7】

第 1 の言語で入力された発話者の音声を認識し、上記認識された音声を第 2 の言語に機械翻訳し、上記機械翻訳された第 2 の言語に音声を合成し、上記第 1 の言語で入力された発話者の音声と上記機械翻訳された第 2 の言語の音声とを所定の順序で出力し、上記所定の順序で出力された音声を上記発話者の発話相手に通信する通信制御プログラムを記録した記録媒体。

【請求項 8】

第 1 の言語で入力された発話者の音声を認識する音声認識手段と、

上記音声認識手段で認識された音声を第 2 の言語に機械翻訳する機械翻訳手段と、

上記機械翻訳手段によって機械翻訳された第 2 の言語に音声を合成する音声合成手段と

上記合成手段から出力された音声を上記発話者及びその発話者の発話相手に通信する通信手段と

を備える通信装置。

【請求項 9】

上記第 1 の言語で入力された音声を記憶する第 1 の記憶手段と、

上記第 1 の記憶手段に記憶された第 1 の言語の音声と上記合成手段からの第 2 の言語の音声とを所定の順序で出力する制御を行う出力制御手段とを備えること

を特徴とする請求項 8 記載の通信装置。

【請求項 10】

上記通信手段は、上記所定の順序で出力された音声を上記発話者及びその発話者の発話相手に通信する

ことを特徴とする請求項 9 記載の通信装置。

【請求項 11】

上記通信手段は、上記音声合成手段からの音声を記憶する第 2 の記憶手段を有し、上記第 2 の記憶手段に記憶されている音声を所定の順序で上記発話者及びその発話相手に通信すること

を特徴とする請求項 10 記載の通信装置。

【請求項 12】

上記第 1 の言語で入力された音声を記憶する第 3 の記憶手段と、

上記第 3 の記憶手段に記憶された第 1 の言語の音声と上記音声合成手段からの第 2 の言語の音声とを所定の順序で出力する制御を行う出力制御手段とを備え、

上記通信手段は、上記出力制御手段により所定の順序で出力された音声を上記第 3 の記憶手段に書き込み、上記第 3 の記憶手段に記憶されている音声を所定の順序で上記発話者及びその発話相手に通信すること

を特徴とする請求項 11 記載の通信装置。

【請求項 13】

第 1 の言語で入力された発話者の音声を認識し、  
上記認識された音声を第 2 の言語に機械翻訳し、  
上記機械翻訳された第 2 の言語に音声を合成し、  
上記合成された音声を上記発話者及びその発話者の発話相手に通信すること  
を特徴とする通信方法。

【請求項 14】

上記第 1 の言語で入力された音声を第 1 の記憶手段に記憶し、  
上記第 1 の記憶手段に記憶された第 1 の言語の音声と上記第 2 の言語の音声とを所定の  
順序で出力する制御を行うこと  
を特徴とする請求項 13 記載の通信方法。

【請求項 15】

上記所定の順序で出力された音声を上記発話者及びその発話者の発話相手に通信するこ  
と  
を特徴とする請求項 14 記載の通信方法。

【請求項 16】

上記音声合成された第 2 の言語の音声を第 2 の記憶手段に記憶し、  
上記第 2 の記憶手段に記憶されている音声を所定の順序で上記発話者及びその発話相手  
に通信すること  
を特徴とする請求項 13 記載の通信方法。

【請求項 17】

上記第 1 の言語で入力された音声を第 3 の記憶手段に記憶し、  
上記第 3 の記憶手段に記憶された第 1 の言語の音声と上記合成された第 2 の言語の音声  
とを所定の順序で出力し、  
上記所定の順序で出力された音声を上記第 2 の記憶手段に記憶し、  
上記第 2 の記憶手段に記憶されている音声を所定の順序で上記発話者及びその発話相手  
に通信すること  
を特徴とする請求項 16 記載の通信方法。

【請求項 18】

第 1 の言語で入力された発話者の音声を認識し、上記認識された音声を第 2 の言語に機  
械翻訳し、上記機械翻訳された第 2 の言語に音声を合成し、上記合成された音声を上記発  
話者及びその発話者の発話相手に通信すること  
を特徴とする通信制御プログラムを記録した記録媒体。